

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2013-51621(P2013-51621A)

【公開日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-013

【出願番号】特願2011-189538(P2011-189538)

【国際特許分類】

H 04 N 13/04 (2006.01)

【F I】

H 04 N 13/04

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月5日(2014.8.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のフレームで構成される動画の画像データを、演算装置によって処理する画像処理方法であり、

フレーム間の前記画像データの差分を演算し、対象物領域と背景領域とで構成される2値の差分マスクデータを作成する処理を行い、

前記対象物領域の中心座標データを演算する処理を行い、

前記対象物領域の平均輝度値を演算し、前記背景領域に対して、前記平均輝度値に応じたグラデーションパターンを施したグラデーションマスクデータを作成する処理を行い、

前記画像データを、前記グラデーションマスクデータに応じた画像データに変換する処理を行う、画像処理方法。

【請求項2】

請求項1において、前記差分マスクデータは、(n-1)フレーム目とnフレーム目との前記画像データの輝度値の差分、及びnフレーム目と(n+1)フレーム目の前記画像データの輝度値の差分より得られる差分画像データを元に、作成される画像処理方法。

【請求項3】

請求項1または2において、前記中心座標データの演算は、ラベリング処理により求められる画像処理方法。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一において、前記平均輝度値は、前記対象物領域の各画素の輝度値を加算し、前記対象物領域の画素数で割った値である画像処理方法。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれか一において、前記グラデーションパターンは、前記平均輝度値に応じて、前記中心座標データから離間する方向に向けて輝度値が減少するパターン、または前記中心座標データから離間する方向に向けて輝度値が増大するパターンを選択して得られる画像処理方法。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか一において、前記グラデーションマスクデータに応じた変換が行われる前記画像データは、

前記対象物領域において、当該画像データの輝度値を用い、

前記背景領域において、前記グラデーションマスクデータの輝度値と、当該画像データの輝度値との平均値に変換された輝度値を用いる画像処理方法。